

平成 27 年 6 月 25 日

各 位

会 社 名 地盤ネットホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 山 本 強
(コード番号：6072 東証マザーズ)
問合せ先 取締役 CFO 兼
管理本部長 荻 野 裕
(TEL. 03-6265-1834)

財務報告に係る内部統制の開示すべき重要な不備に関するお知らせ

当社は、平成 27 年 3 月期の内部統制に開示すべき重要な不備があり、当社の財務報告に係る内部統制は有効でない旨を記載致しましたので、下記の通りお知らせ致します。

記

1. 開示すべき重要な不備の内容

当社は、下記項目に起因して、当社の財務報告に係る内部統制の不備があり、これらが財務報告に重要な影響を及ぼす可能性が高く、開示すべき重要な不備に該当すると判断致しました。

- (1) 適切な経理・決算業務のために必要かつ十分な専門知識を有した人材が不足していること。
- (2) 販売先への売上の計上及び債権管理の運用プロセスの不備が判明したため。

2. 連結会計年度末日までに是正されなかった理由

当連結会計年度末日までに是正されなかった理由は、以下のとおりであります。

- (1) 適切な経理・決算業務のために必要かつ十分な専門知識を有した人材の確保

ベテランの経理部社員の退職に伴いその補充として継続的に採用活動を行ってまいりましたが、決算処理を適切に遂行するために能力及び経験を有した人材の補充を行うことができませんでした。外部の専門家に経理体制の整備を依頼し、決算処理を適切に遂行するべく体制の構築に努めておりましたが、経理・決算業務の責任者として人材紹介会社から紹介され採用した元経理部長（平成 27 年 6 月 19 日付け懲戒解雇処分）が不正行為を働くなど、結果的に当連結会計年度末日までに適切な経理・決算業務体制を整備することができなかつたためであります。

(2) 販売先への売上の計上及び債権管理の運用プロセスの不備

平成27年に入ってから売掛金残高の精査中に不備が発覚し、当連結会計年度末までに不備を是正するためワークフローと承認権限体制の見直しを実施してまいりました。上述の経理人材の補充が十分でないことを主な理由として、加えて元経理部長による不正行為の発覚を免れることを目的とした売掛金残高の差異調整内容を不正操作する等の障害もあり、改善策の実行が連結会計年度末までに完了しなかったためであります。

3. 開示すべき重要な不備の是正方針

当社は、財務報告に係る内部統制の整備及び運用の重要性を認識しており、管理部門及び経理部門の人員増強を実施し平成27年3月31日現在に比べ本提出日現在は経理部門の人員は1名純増し、平成27年7月に1名採用予定であります。今後は教育研修体制を整備してまいります。決算・財務報告プロセスにおける不備については、会計処理についてのチェック・承認プロセスの見直しなどの再発防止策を講じ、体制の整備や決算手続きを確実に実施することで是正を図ってまいります。

売上計上プロセスについてはワークフローと承認権限体制を全面的な見直しを実施し、本提出日現在の債権管理の運用プロセスは新基幹業務システムの運用開始に合わせ改善を進め、売上計上の運用プロセスは改善を完了し有効に機能しております。

なお、当社では一層のリスク管理体制を強化することを目的として、全社のリスクマネジメントの情報収集・対策とリスク管理責任を負うCRO（チーフ・リスクマネジメント・オフィサー）の選任を行い、代表取締役社長がCROに就任することと致しました。また、代表取締役社長を委員長及び社外取締役を特別委員とするリスク管理委員会を設置致します。これにより、全社横断的な視点でリスクマネジメントに取り組み、各部署のリスクマネジメント報告の承認を行い、社内に存在する全てのリスクに対する評価を行うことで、全社で対応するリスク対策を策定し確実にリスク管理を実行してまいります。

4. 連結財務諸表等に与える影響

上記開示すべき重要な不備に起因する必要な修正事項は連結財務諸表等に反映しております。

以上